



上小PTA改革に関するアンケート

結果レポート

アンケート概要

- 調査時期：2022年4月 書面総会にて実施
- 回収方法：Googleアンケートフォームおよびアンケート票配布
- 回収結果：回収率45%（総会員数735 アンケート有効回答数331）

● 質問内容：

Q1.改革内容の認知と賛同

Q2.【①学校の教育活動を支援する】についての自由意見

Q2.【②子どもの安全・安心を守る】についての自由意見

Q2.【③地域で育つ子どもたちを支える】についての自由意見

Q3.PTA改革やPTAそのものに対する自由意見

※アンケートの自由意見の傾向分析に際しては、書面総会実施後、

4月末までにPTAのヤフーメールにお寄せいただいた質問やご意見も合わせて分析しています。

2022年6月

上ノ原小学校PTA本部作成

● アンケート票

PTA活動についてのアンケート実施中！みなさんの声をお聞かせください。 〆切は4月27日！

PTA本部では、会員のみなさんの声に耳を傾けながら、誰もが参加しやすいカタチを模索していきたいと考えています。そのためのアンケートにぜひご協力ください。

以下のURLまたは右のQRコードからお答えいただけます。

<https://forms.gle/nA6d5JLhwdNW4n4A>

紙で提出されたい方は、お子さんを通じて〆切までに担任の先生に提出してください。



Q1. 上ノ原小学校PTAは、これまでの活動のあり方を見直し、改革をすすめてきました。下に挙げた改革の内容それぞれについて、あなたが【a.知っている／b.知らない】【c. 賛同できる】事柄を、いくつでもチェックしてください。a.b.cのどちらも当てはまらないという方は【c.わからない】を選んでください。

	a.	b.	c.	
	知っ	知	賛	わ
	てい	ら	同	か
	る	な	でき	ら
		い	る	な
				い
1 PTA活動を「強制義務型」から「自発参加型」に変えた	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
2 「できることを できるときに 無理のない範囲で」をモットーに掲げた	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
3 活動に「3つの柱」をたてて、意義を明確にした	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
4 クラス役員や係を廃止し、当番（旗振りや行事当番）を都度ボランティア募集とした	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
5 書面総会を導入したり役員会をオンライン化、ボランティア募集はフォームを使うなどデジタル化を進めた	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
6 お知らせや配布物はPTAホームページで配信した	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
7 印刷配布物をできる範囲で減らし、作業負担や経費の削減に務めた	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
8 22年度から新たにPTA専用アプリを導入する	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

Q2 上小PTAは今後も以下の「3つの柱」を軸として活動していきます。各柱の中で、“こんな活動をしてみたい”というアイデアやご意見がありましたら、自由に記入してください。

① 教育活動支援（運動会、学校行事の手伝いなど）

[]

② 子どもの安全・安心を守るための活動（旗振り、パトロールなど）

[]

③ 地域で育つ子供たちを支えていくための活動（イベント、地域サポートなど）

[]

Q3 PTA改革、もしくはPTAそのものについて、その他お気づきの点がありましたら、ご記入ください。

[]

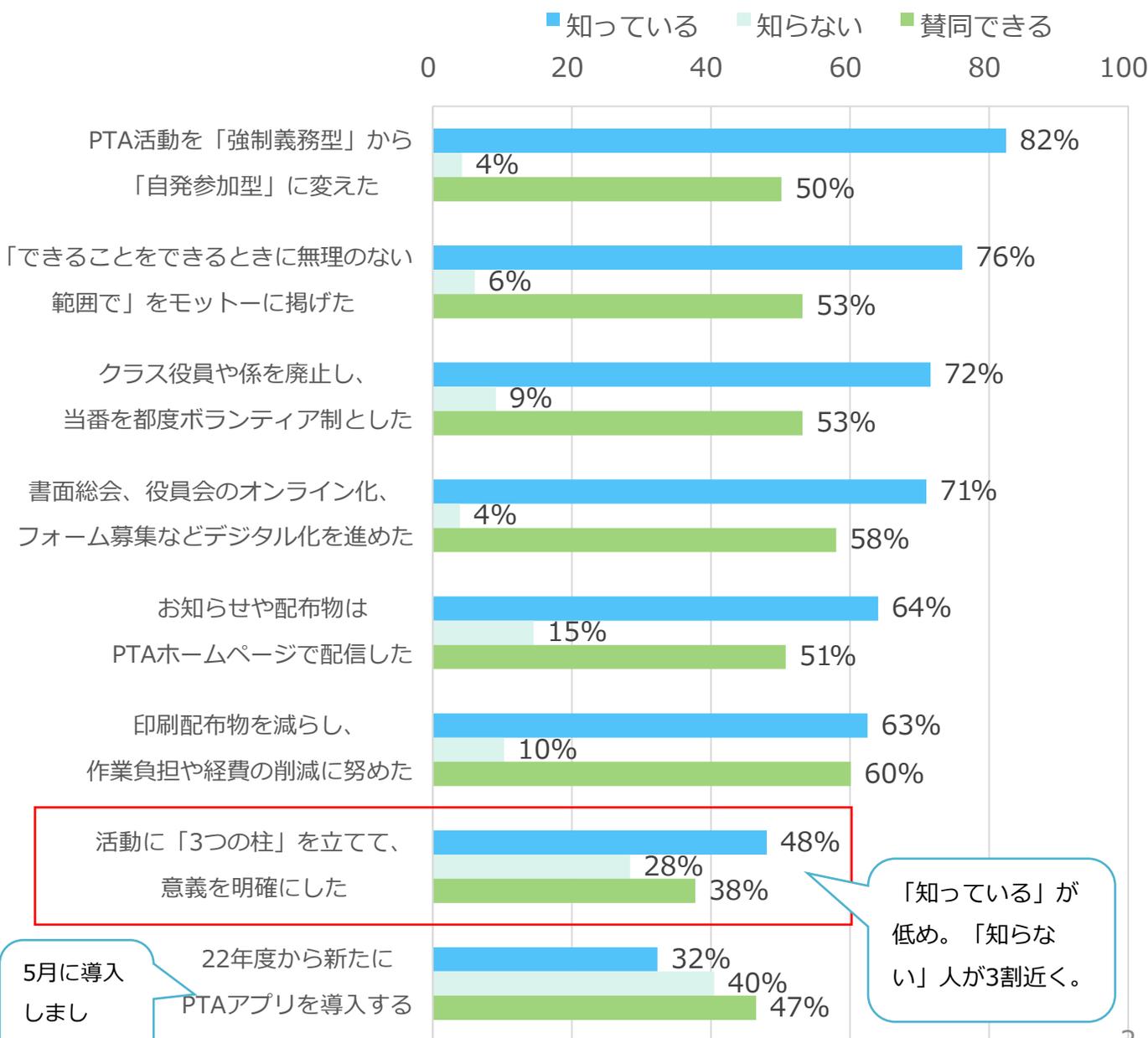
～アンケートは以上です。ご協力ありがとうございました。結果はPTAアプリで配信予定です～

22年4月の時点で、改革はどこまで浸透していたのでしょうか？

- 回答者の中で6～8割の方が、昨年度より本部で進めてきた改革の詳しい内容を認知していました。またそれぞれの項目についても5～6割の方が賛同の意を示してくださっています。
- ただし、**活動の軸である「3本の柱」の認知は48%と低く、まだまだ未達**、という結果です。
- 「3本の柱」はブレない活動の軸として会員みなさんにしっかり理解していただく必要があります。今回のアンケート結果が会員全数のものではないことを考慮に入れると、今年度は新たに導入されたアプリを上手に活用しながら、もっと多くの会員の方々にご理解・賛同いただけるようわかりやすく工夫してお知らせしていきたいと思っています。

Q1.上ノ原小学校PTAは、これまでの活動のあり方を見直し、改革をすすめてきました。

下に挙げた改革の内容それぞれについて、あなたが【a.知っている／b.知らない】【c. 賛同できる】事柄を、いくつでもチェックしてください。



5月に導入しました！

22年度から新たにPTAアプリを導入する

「知っている」が低め。「知らない」人が3割近く。

会員のみなさんは改革をどのように感じているのでしょうか？

アンケートでは「3本の柱」のそれぞれについて、自由な意見やアイデアを寄せていただきました。以下、回答の傾向を大きくまとめ、意見の一部と本部からの回答を掲載しました。

※寄せられたすべての自由意見とそれに対する本部からの回答はHP上の【資料編】をご参照ください。

PTA改革や活動そのものに対するご意見

- できる範囲で参加したいという前向きな気持ち
- 地域のロールモデルとしての期待
- DX化・アプリによるスムーズな参加方法への期待
- 終息を視野に入れたコロナ対策の見直し
- 活動の外注化の提案

前向きな意見が多い一方で。。。挙手性で本当に回るのか、DX化で本部業務のハードルが高くなり、立候補者がいなくならないか、というご心配の声もいただいています。

3本の柱についての具体的アイデアやご意見

①学校の教育活動を支援する

- 運動会など、子ども達の様子が見える行事のサポートを積極的にしていきたい
- コロナが落ち着いたら読み聞かせを復活させてほしい

②子どもの安全・安心を守る

- アプリで旗振りに参加しやすくなるのでできるときに参加したい
- 旗振りは重要だとわかっているが参加しにくい、プレッシャーがある
- 旗振りのマニュアルやガイドラインが必要ではないか
- パトロールカードやネームプレートを活用したい
- 交通ルールやあいさつまナーの啓もうが必要（大人・子供）
- 地域からのサポートに関するエピソード
- 地域や警察の協力を仰いでほしい
- 旗振りやパトロールは外注も視野に入れていいのではないか

旗振りについての意見がたくさん寄せられ、重要性を改めて認識しました。

③地域で育つ子どもたちを支える

- 盆踊りなどのイベント復活
- 上小アミューズグラウンドが楽しかった
- 意義のある講演会をやってほしい
- 地域との意見交換会の開催
- 子どもの意見を取り入れた企画を
- コロナ対策の見直し

3本の柱①学校の教育活動を支援する（一部抜粋）

運動会や学校行事・先生のお手伝いがしたい

昨年のスポーツ大会の時のように他学年のお手伝いはやりがいがありました。一学年だけ(短時間)なら準備、片付けはそこまで負担でないですし、参加しやすいと思いました。

学校支援については、積極的に関わりたい保護者が多いと考えます。学校側からも、遠慮なく声をかけていただきたいです。

コロナ禍で参観日も減り学校での様子がわからないので、子供のクラスの様子を見られるようなお手伝いなら進んでやってみたい。

全体運動会の復活

入学式や卒業式、運動会などの設営

- ▶ 学校行事のサポートはPTAの中核となる活動のため、**学校と調整の上でお手伝いができるよう進めています**。アプリを通じてボランティアを募集する予定ですのでぜひご応募ください。
- ▶ 式典や行事の設営準備は高学年児童が担当する伝統があるため、**PTAとしてのサポートは、ライブ配信など、学校からの要請を受けた活動にしぼって**行っています。
- ▶ 運動会は、コロナ禍以降、学年ごとのスポーツ大会として実施されています。PTAは、競技の準備・運営サポートなどを実施しています。

担任の先生の負担を軽減できるような、ちょっとしたお手伝い。例えば、朝の1時間クラスに参加して、提出物のチェックなど。

- ▶ 日常的に行われる学校教育活動に関するサポート業務は、PTAではなく地域学校協働本部が担っています。役割をすみ分けて学校の教育活動を支援していきます。

読み聞かせを復活してほしい

過度の感染対策のために、子供達から奪われてしまったこの2年~の【朝の読み聞かせ】がない事が本当に残念です。二度と戻る事の出来ないない児童期、心の為に本当にやりがいのあるボランティアだと感じていたからです。勿論本に興味がない子も一定数います。何の本を読んだか覚えているかではなく、ただ、【あの時誰かのお母さんが読みに来てくれたな】という思い出貯金が自身にもあり、そういう積上げが自己肯定感も上げてくれるからです。

- ▶ 読み聞かせにつきましては、PTA本部としてもその重要性を感じており、学校と復活に向けた意見交換をし始めています。コロナ対策でこれまでのような形ではないかもしれませんが、できる方法で再開をしていきたいと考えています。

3本の柱②子どもの安全・安心を守る（一部抜粋）

アプリ導入・強制廃止で旗振りに参加しやすくなる・できるときに参加したい

スポット的に立候補出来たりする仕組みが定着すると、やりやすい方も増えると思いますのでアプリが楽しみです。アプリが出来れば、この日は行けるなどが可視化出来てリアルタイムで判断出来るようになると旗振りの立候補もしやすくなるかなと思います。

これまでの旗振り(強制当番の際)では、家庭の事情で未就学児の預け先がない状態だったこともあり、子ども達の相手もままならず決まった時間に合わせ調整し参加することが大変でした。通勤の自転車や車から身を挺して子どもを守らなければならないプレッシャーも感じておりましたので、強制的なボランティアが廃止されたことをありがたく思っております。

- ▶ 前向きなご意見をありがとうございます。アプリを通じてスムーズな募集ができるよう、上手に活用していきたいと思っております。できるときにできる範囲でご参加をお待ちしています。

旗振りのマニュアルやガイドラインが必要ではないか

旗振りも大事な役目だと思います。

ただ、大事な役目であるという認識が全体としては浅いと思うので、やった方からの意見や感想、もしくは登校風景の動画などで活動の様子を伝えると、認識が少しは変わるのかなと思います。

以前旗振りをしていらっしゃるシルバーさんを見かけた時や、実際に自分が旗振りをした時に思ったのは、子供達の安全を守るため、旗振りの際にどの交通を止めてどこに注意すべきか、などを講習で教えてもらいたいと思いました。

実際にやってみると旗振りは難しかったですし、その場所によってどこを注意すればよいかなど事前に知らぬままにただ旗振りをするのでは、子供達の安全を守るという目的が十分に果たせていないと思いました。

- ▶ PTA本部としても同じ問題意識を持っています。できることから少しずつ改善していきます。活動の様子をシェアする重要性も感じていますので、今後アプリを通じてできる範囲で取り組んでいく予定です。

パトロールカードやネームプレートを活用して協力したい

自転車に着けたパトロールカードは、デザインがいいね!と、声をかけられる事があり、とても良いと思います。旗振りや帰宅時のパトロールなど、子供を見守るための取り組みには、PTA全体で取り組んで行けると良いと思います。

腕章や自転車に掲示するポスターは勇気がいるので、微力ながらネームプレートでのパトロールを今後も続けてまいりたいと思っています。

- ▶ 昨年度は約120台の自転車にマツモスをあしらったオリジナルデザインのプレートをつけていただきました。見守りプレートを付けた自転車が走ることによって地域の防犯効果アップにつながります。もちろん、首から提げるタイプのネームプレートだけでもかまいません。これからも「できるときにできる範囲で」ご協力よろしくをお願いします。

旗振りやパトロールの外注も視野に入れていいのではないか

先日テレビで、旗振りの仕事もすきま時間を利用して稼げるアプリを利用し外部へお願いしている自治体のニュースを見て、こういうのも会費に余裕があるならば、使ってみても良いのかなと感じました。朝と下校時など。

例えば、お金を出しても個人が役割を委託するようなシステムがあっても良いと考えます。今は、上ノ原まちづくりの会だったり、シルバーの方だったりかと思いますが、街中には何かしたい高齢者など多いのではないかと思います。

そのような方たちの居場所、生活の糧にもなるような気もするので、地域で一般公募してみるのもありなのかなと思います。そうすることで高齢者の居場所作りにもなるのかなと思います。

- ▶ 旗振りの外注化に関しては、方法論、概算費用などに関し情報収集いたしました結果、高額となるため、現段階では外注化を進める予定はありません。PTA本部としては、自分たちにできることで、対応を検討し、上ノ原まちづくりの会のみなさんとも連携を取りながら活動を続けていく予定です。まちづくりの会のボランティアさんも高齢化やメンバー不足で大変な事情を抱えていらっしゃるようです。ご理解・ご協力をよろしくお願いいたします。

地域からのサポートについてのエピソード

昨年度、金曜下校時に京王タクシーの十字路辺りで、子供が【ひかれそうになった】と言って帰ってきました。聞けば、元々右左折する車なので徐行気味ではありつつも、子供の表現は大袈裟ですが、実際に体に近い所でキュッと止まったそうです。怖かったと言っていました。

その時、ウォーキングをしていたご夫婦がいらっしゃり、祖父母世代かと思いますが、【危ないじゃないか】と大声で言ってくれたそうです。ご夫婦かどうかは実際わかりませんが、パトロールの黄緑色のお召し物を着ていたようです。やはり、もしもお時間許されるならば、今後も下校時刻頃にご都合つけばウォーキングや、犬の散歩を意識して下さったらと、切に思いました。

パトロールの意味も感じますし、そういった上着を着てらっしゃると大変心強かったようです。

お礼をお伝えする術がないので、こういった事があって大変感謝していると、例えまちづくりの会の方でなかったとしても、地域の方なのでお礼を申し上げたく存じます。

- ▶ お子さん、怖かったですね。けがはなかったのでしょうか？
- ▶ 黄色いジャンパーを着て通学路に立ってくださっているのは「まちづくりの会」のボランティアさんたちです。先日PTA本部として地域の会合で顔を合わせた際に、今回いただいたご意見を紹介し、会長からお礼を伝えてもらいました。地域でお見かけした際には、「こんにちは。お世話になっています」などの気軽な声がけをぜひよろしくお願いいたします。

3本の柱③地域で育つ子どもたちを支える（一部抜粋）

盆踊りなどを復活したい

コロナが収束したら盆踊り大会を復活させてほしい。

子ども達は以前の夏祭りのイベントが楽しかったようですので、コロナが終息し安全が確保できた暁に復活できれば喜ぶだろうと思います。

盆踊りは開催されるのでしょうか？

- ▶ 盆踊りは再開に向けて地域の実行委員会が始動しています。PTA本部もメンバーとして協力しています。感染対策でこれまでとは違った形になるかもしれませんが、PTAブースでは子どもたちが楽しめるよう、企画を進めています。今後アプリで準備や当日ボランティアを募集していく予定ですので、ぜひともご協力をお願いいたします。

アミューズグラウンドについて

お祭りが出来なくなりそのまま卒業するのを本当に悲しく寂しく切ない思いをしていた息子がハロウィンイベントをやってくると聞いて本当に喜び必ず参加していました。人生一度しかない生涯の思い出を沢山作って下さり素晴らしい一生の宝の思い出になりました。有難う御座います。

コロナの影響が残る中ですが、おやじの会の皆様のご尽力くださりハロウィーンのイベントは子供たちの思い出に深く残っています。感謝しています。

- ▶ 昨年好評いただいた、「上小アミューズグラウンド」は本年度も開催予定です。アプリを通じて企画・運営・準備・当日ボランティアに参加して下さる方を募集します。保護者のみなさんが負担を感じず、準備から当日・片付けまで楽しく参加できるイベントにしていきたいと思っております。特に企画・運営に積極的に関わりたいという方は大歓迎です。ご応募お待ちしております！

その他のイベントアイデアについて

・ザリガニ釣り ・ナイトハイクの復活 ・ドッジボール大会 ・子どもや大人の学びになる講演会
・メンタルヘルスやマインドフルネスの講演会 ・参加型の防災訓練
・つつじヶ丘子ども食堂への支援 ・不要な学用品を扱うフリマ ・Q-Uテスト ・漢字検定
ほか多数

- ▶ さまざまなご意見・アイデアをありがとうございました。地域とともにある学校づくりを支援するPTAでありたいと考えています。そのためにPTA本部では、本部メンバーやボランティアの方々が無理なく企画・運営・参加できるイベントの実施についてみなさんの声を聞きながら、地域で育つ子どもたちを支える活動を行っていきたく考えます。PTA自主企画では、随時、アイデアを募集しております。企画・運営まで関わってみたい！という方、大歓迎です。グループでの参加もあり。ぜひともボランティアでご協力ください。

挙手制を採用したことへの賛同のご意見

PTAの活動が自発参加型になったのは全く知りませんでした。知らない方が他にもいましたが、以前から発信されていたのでしょうか？自発参加となった事で、今までやらなければいけないという感覚から、やれる時にやれる事をと私も含め皆さんが手を挙げやすくなったかなと思います。いろいろな改革を考えて下さり、ありがとうございます。

PTA改革を進めていただき、ありがとうございます。どうしても時間が取れず、参加できない会員もいるという現実に対して、本気で考え、実際に動いてくださることに感謝申し上げます。

- ▶ 心強い応援のメッセージをありがとうございます。保護者のみなさんからこうしたお声を直接いただくこともあり、本部メンバーの日々の活動の励みになっております。
- ▶ PTA本部は、アプリなどの改革を進めてはおりますが、その年に集まったメンバーで工夫をしながら運営しています。基本的な考え方としては、どなたにでも引き継いで行けるような業務で本部が運営できるように心がけています。
- ▶ 新しい体制を布いた今年度は、手探りでの運営が続き、見えない苦労がたくさんあります。皆様には、ご不便をおかけいたしますが、ご理解とご協力をよろしくお願い致します。

DX化・アプリへの期待の声

議案書のデジタル化やフォーム議決など、実際にやってみて、とても円滑で、楽です。アンケート結果も楽しみです。

新聞の記事※も読みました。アプリの導入もとてもすごいことだと思います。可能な限り参加をしたいと思います。

- ▶ P T A 活動のデジタル化へのご賛同ありがとうございます。今年度5月に導入された P T A アプリ「Hi!」の活用により、P T A 活動のデジタル化はさらに加速していくと思われます。
- ▶ 各種お知らせ、ボランティア募集、空き状態の確認、参加登録もわかりやすく、気軽に手を挙げるできるようになります。乞うご期待！

※22年4月13日に調布経済新聞にて、アプリ「Hi!」が取り挙げられました。
記事タイトル - 地元企業「OpenDNA」と共に開発を進めたアプリ「Hi!」

強制型廃止によってストレスやプレッシャーがなくなったというご意見

恒例4月の教室での、役員決め裁判のような数十分間がなくなった今年度、改革を進めて下さった皆様に本当に感謝しかないです。有難うございます。

下の子がまだ小さいので、強制義務型の活動の廃止によってストレスが軽減できました。ありがたい動きを進めていただき、本当に感謝しております。

- 心強いお言葉をありがとうございます。ストレスしかない役員決め。それが改革の出発点でもありました。過去に役員・当番決めに尽力してくださった経験者の方々は本当に大変だったと思います。この場を借りて深くお礼申し上げます。
- しかしこれからのPTA活動は、「やらされる」のではなく、「自ら考えて行動する」ものであるべきだと思っています。個人の都合や事情を尊重し、【できるときにできる範囲で】関わることのできるPTAを目指し改革を進めてきました。
- 今年度もさらなる見直しを進め、できるだけ互選会を開かなくても「面白そう。やってみたい」という意識からスムーズに役員が決まるPTAを目指していきます。

挙手制で本当に回るのか？など改革への心配・疑問のご意見

入学前に、在校生の父兄の方から改革中と伺っていました。

強制でなく、自発的に参加することは良いと思いますが、PTAの役員の方は立候補が必ずあるという前提なのでしょうか？

また他の内容についてボランティアだけで成立しなくなる場合はどうなるのでしょうか？
協力できることは参加できればと思っておりますので、運営全体に関する質問です。

- 忌憚のないご意見ありがとうございます。必ず立候補がでる保証はありません。子どもたちと学校のために必要な活動を選んで理念を掲げていますが、もし、立候補がでない場合は、それだけ必要性が乏しいか、協力したくてもできないか、無理のある組織・活動であると考えられると思います。そのような場合は、随時、勇気をもって見直しを行って行きます。社会状況に合わせて、考え、変化して行くことができる体制を目指しています。ご理解・ご協力をよろしくお願いいたします。

PTA改革にご尽力くださり、感謝しています。保護者の負担軽減は時代の流れとして必要だと思えますが、学校が閉ざされた場所になってしまわないかだけが心配です。

学校に先生以外の大人がいることは、子どもたちにとっても良いと思うので。

- コロナ感染対策で、学校と疎遠になってしまった感はありますが、地域に開かれた学校づくりは、全市的な取り組みで進められています。上ノ原小学校はコミュニティスクールとしてのモデル校にも選ばれています。PTAは足並みを合わせて協力をしていきます。

各種お知らせの印刷配付についてのご意見

今の時代はすべてがオンライン化・デジタル化が良いとされる風潮がありますが、仕事が忙しいときは紙状のお便りを渡していただいたほうが目を通しやすいということもあります。すべてをアプリ・携帯でチェックだと、逆に見落とすことも多いです。

- 忌憚ないご意見をありがとうございます。PTA改革の中で、各部門の役員の負担軽減は大きなテーマとなっております。印刷部数や回数を減らすことで、学校に集まり作業する時間や負担が格段に減り、それならば、と役選で手を挙げてくださる方も出てきました。PTA本部としては、上手に使い分けていきたいと考えています。ご理解・ご協力をよろしくお願いいたします。

PTAからのプリントは緑の色紙ではなく安い普通の白い用紙でもいいと思います。

- 忌憚ないご意見ありがとうございます。紙面での配布は、できるだけデジタルに変更しておりますので、最低限必要なものだけに限るように運営しております。紙面で配布するものはそれだけ皆様に見ていただきたいものです。
- 緑の用紙は学校で配布されるものと区別がしやすく、PTAの文書であることを広く認識していただいている状況ですので、引き続き継続させていただきます。
- 今後も年間を通じて見直しを図り、さらなる枚数削減や作業負担の軽減に努めてまいります。ご理解・ご協力をよろしくお願いいたします。

活動の外注化についての意見

例えば、お金を出しても個人が役割を委託するようなシステムがあっても良いと考えます。個人的には、我が子たちのためになる事だからとは思うものの、保護者が淡泊かつ、PTAのマイナスイメージの横行を考えると仕事をしている方たち向けにそういうシステムもいずれ必要になるのではないかと考えています。

自発性となった分絶対ではないならばそのようなことも発生し辛いとは、思いますが…

- 忌憚のないご意見ありがとうございます。PTA業務のアウトソースを含めた効率化・適正化については、全国の動向などをPTA本部で情報収集し、とり入れることが可能なものについては積極的に導入しております。5月には、PTAと企業をつなぐマッチングサイト【PTA'Sピータス】への無料会員登録をし、各種書類のひな形をダウンロードできるサービスに加入いたしました。今後もこうしたリソースを上手に活用し、将来的なPTA業務対応のあり方を模索していきたいと思っております。

コロナ対策の見直しについて

リアル開催に戻すことを目的とした、感染対策ガイドライン策定への働きかけが必要だと思っております。

- コロナ対策については、学校の意向を尊重しながら、今後の支援の方法を検討していきます。また、具体的な感染対策については、独自のやり方ではなく、調布市及び学校のコロナ対策基準の最新情報を確認しながら、展開して行く予定です。ご理解・ご協力をよろしくお願いいたします。

22年度書面総会の決算資料についてのご質問と回答

PTA役員の活動ありがとうございます。

決算報告にて、どのような活動の内容に紐づいているかわからないものがあったので、どこか別の機会でご構いませんので説明の追加を希望します。「アミューズグラウンド」「ユーフォートイレットペーパー」「講演費」です。

またベルマーク活動について、2021年度活動報告にベルマークを回収した旨の記載があり、一方予算執行は0円となっていますが、活動内容を見直されたのでしょうか。こちらも別の機会でご構いませんので説明の追加を希望します。よろしくお願いいたします。

- ▶ 決算報告書についての具体的なご質問ありがとうございました。以下お答えいたします。内容でさらに不明な点がありましたら、上小PTAアドレス (uenoharapta@yahoo.co.jp) までご連絡ください。

【アミューズグラウンドについて】

2019年までは盆踊り、クリーン作戦、地域運動会、きもだめし、クラフト教室など多くのイベントを上ノ原小学校開放運営委員会と協働し行っておりました。（この際の予算はPTA予算とは別です。）しかし、新型コロナウイルス流行により子ども達が参加できる催しの中止が相次いだため、学校と相談し、子ども達が楽しめる催しとしてPTAが開催したものがアミューズグラウンドです。ミニゲームを9種類準備し、感染対策に留意し企画したところ、予想を大幅に上回る参加希望が集まりました。そのため当初想定した予算を増額し開催することとなりました。

【ユーフォートイレットペーパー】

PTA室はユーフォーの隣に位置しており、ユーフォーのトイレをお借りすることがあります。そのため、年度初めにユーフォーへトイレペーパーをお渡ししております。

【講演費】

新型コロナウイルス流行前には、子育て中の保護者に役立つと思われる内容を外部講師をお招きして講演会を行っておりました。その際にお渡しする謝礼と交通費を講演費として計上しております。昨年度は未実施のため、予算額は設定しておりますが決算額は0円となっております。

【ベルマークについて】

ベルマーク活動については、単純に経費が発生することなく1年間を送ることができました。ガムテープ等の消耗品も残り物で対応することができました。